

げんのうかん

玄翁館だより



新里生涯学習センター
〒028-2101 宮古市茂市 5-2
TEL: 72-2019
FAX: 72-3600
令和8年9月発行 第19号

～5月から8月までに実施した講座やイベントを紹介します～

「第1回ネイチャー写真講座」 ～新緑の田瀬湖とパワースポットの丹内山神社を撮影～

5月9日(土)、10日(日)第1回ネイチャー写真講座を開催しました。今回、初参加の方も含め「座学」に8人、「野外講座」には13人参加。「座学」では講師の山根美智夫さんから「撮影前にやっておくべきこと」と題し講義をうけました。参加者は自分が使用している機材について話し、質問や情報交換をする良い機会となりました。野外講座は天気にも恵まれ新緑の田瀬湖と丹内山神社、白金橋を撮影。参加者は時間いっぱい思い思いの場所で撮影していました。



「山野草講座」 春の山路散歩～源兵衛平の巻～

5月13日(水)15人が参加し、講師の大坊敦子さんから山野草の特徴や名前の由来を教わりながら春の源兵衛平を散策しました。参加者からは、「クルマバツクバネソウやチゴユリも見ることができ嬉しかった。」「自然豊かな源兵衛平をゆっくり歩き楽しかった。大満足です。」と感想があり、可憐に咲く山野草との出逢いと春の訪れを感じる有意義な時間を過ごしました。



夏の山路散歩～櫃取湿原の巻～

7月9日(木)15人が参加し、岩泉町の櫃取湿原を散策しました。緑の牧地には黄色や白い花たちがまるで草色のジュタンを彩るように咲き、湿原へ足を運ぶと清流にしか生息しないバイカモ(梅花藻)湿地帯にはミズチドリ、オニノヤガラ等を観察することができました。また、シャクナゲの群生地を目にした参加者は、「可憐に咲くシャクナゲがとてもきれい。」「初めての櫃取湿原に感激しました。」と笑顔を見せていました。



「エクササイズ体験教室」 ～日常の運動バリエーションを増やそう～

6月5日、12日、19日、26日、全4回に延べ36人が参加し、講師の名取秀志さんご指導の下、エクササイズ体験教室を開催しました。体の柔軟性に効果のあるストレッチ、リズム感やバランス感覚に役立つ運動を学びました。脳と体の活性化に効果のある運動では、懐かしいお手玉を使用するなど、参加者を楽しませるバリエーション豊かなプログラムに終始笑い声が聞こえる有意義な教室となりました。



「乳幼児期家庭教育学級めばえ」 第1回～親子で体験・ミニトマトの苗植え～

6月6日(土)親子5組14人でミニトマトの苗植えを行いました。最初に読み聞かせボランティアの方から絵本を読んでいただき親子で本に親しむ楽しい時間を過ごしました。製作あそびでは、シールやマスキングテープをペットボトルに貼りつけ親子で手づくりのジョウロを作り、ミニトマトの苗に水やりを行いました。参加親子は、「ミニトマトの収穫が楽しみだね。」「すくすく大きくなあれ。」と話していました。



第2回～親子でふれあい♪英語リトミック～

7月11日(土)親子10組27人が参加し、英語リトミック講師、東有香さんのピアノ演奏に合わせ、輪になって歩き、体を動かし親子でふれあう有意義な時間を過ごしました。参加者からは、「楽しく活動できました。家でも英語を取り入れてみたいと思います。」「体を動かし楽しく参加することができました。また参加したいです。」と話していました。



第3回～夏の思い出に♪親子で体験・ミニトマトの収穫～

8月1日(土)親子で体験・ミニトマトの収穫には、親子10組25人が参加しました。最初に牛乳パックで作る収穫バックを製作。子ども達はお気に入りのシールやマスキングテープを牛乳パックに貼りつけていました。完成した収穫バックを持ち畑へ移動し、赤くなったミニトマトの収穫体験を行いました。収穫したミニトマトを美味しく食べている子どもも見られ「普段食べないのに、自分が収穫したトマトは食べました。」と保護者は驚いていました。



管理栄養士の食育教室では、「幼児のおやつについて」の講話と「さつまいもの食感のこるムース」のレシピ紹介と試食があり「お家でも作ってみようね。」と参加者は話していました。

第4回～みんなで一緒に大はしゃぎ♪親子で水遊び～

8月29日(土)親子で水遊びには、4組13人の親子が参加しました。最初におはなし会を行い、読み聞かせボランティアの方から絵本と紙芝居を読んでいただきました。風船を使った製作あそびの紹介もあり、親子で楽しい時間を過ごしました。予定していた外での水遊びは、気温が低いためカラーボールを入れたプールに入り、水あそびの雰囲気を楽しみました。保健師による健康教室では、保護者の血流測定を行い「子どもさん優先になり、自分の事は後回しになりがちですが、自分自身の体調管理も気かけ、こまめに水分を取りましょう。」とお話がありました。参加者は「血流測定はビックリの結果でしたが、自分の健康にも気をつけようと思うきっかけになりました。」と話していました。



新里地区生涯スポーツ推進協議会事業 目指せホールインワン『グラウンド・ゴルフ大会』

6月7日(日)、新里生涯学習センターを会場に第13回を迎えた本大会。28人が参加し32ホールの熱戦が展開されました。1打1打に集中する様子や、ホールインワンやナイスショットに歓声が上がり、参加者どうしの交流も図られた楽しい大会となりました。

優 勝	野内 俊孝 選手	トータルスコア	75
準優勝	田鎖 隆 選手	〃	76
第3位	舩澤美登子 選手	〃	78



はじめての『モルック交流大会』を開催！

7月5日(日)、新里生涯学習センターを会場に28人(6チーム)が参加。日本モルック協会認定指導員の杉枝武雄さんから競技説明等ご指導をいただき、各コートに分かれゲームを行いました。50点ピツタリを目指し得点を重ねていく簡単なルールながらも、「個々の技術」と「チームの戦略」を駆使したゲーム展開に一喜一憂、盛り上がりを見せていました。モルックの楽しさ奥深さを満喫し心地よい汗を流しました。

優 勝 チームかりけん 準優勝 まわた一ち 第3位 ゆうびんきよく



「紙で作る蓮の花体験講座」 ～色鮮やかな蓮の花に癒されて～

7月4日(土)8人が参加し、蓮の花認定講師の方からご指導いただき、紙を使って蓮の花を作りました。参加者はどんな蓮の花にするかイメージし花びらに使用する34枚の蓮紙を選んでいました。土台の紙コップにバランスよく花びらをつけることが難しく、講師のアドバイスを聞き、集中して取り組んでいました。最後に完成した蓮の花をライトアップし思い思い写真におさめ、参加者同士和気あいあいと鑑賞していました。



「第1回ふるさとキッズ」 夏休みイベント(野外炊事体験)～カレー作りにチャレンジ！～

7月26日(日)、小学生と保護者22人が参加し、陸中海岸青少年の家で野外炊事体験を行いました。子ども達は、協力しあって野菜を切り、飯盒でお米を炊く等一生懸命取り組み、無事に美味しいカレーを完成させることができました。子ども達は「美味しい！」「格別な味がする。」と笑顔を見せていました。保護者からは、「子供たちと一緒に、料理や後片づけを楽しく体験できて良かったです。また参加したいです。」と話し楽しい夏の思い出を親子で満喫していました。



「高齢者教育いきいきセミナー」 第1回「救急普及講座」～救命に必要な応急手当を学ぶ～

6月26日(金)14人が参加し、宮古消防署新里分署の竹花さんと内澤さんから心肺蘇生法とAEDの使い方を学びました。参加者は、1分間に100～120回テンポで胸を5cmの深さに的確に圧迫する事の大変さに驚いていましたが、速やかな心肺蘇生やAEDを使用した応急手当で命が助かる可能性が高いと学び、救命処置を行うことの大切さを実感しました。また、119番通報は4月1日より「いわて消防指令センター」で一括受信されるので市町村名から始まる住所、目標となる建物を落ち着いて伝えることを学び、有意義な講座となりました。最後に講師から、「夏に向けて、こまめに水分補給を行い、熱中症対策に心掛けてください。」とのアドバイスをいただきました。



第2回「学ぶ防災」～震災から15年…災害から「命」を守る～

7月29日(水)9人が参加し、防災ガイドの元田さんに田老地区を案内していただき防潮堤、三王岩、津波遺構、避難路と津波碑を見学しました。津波遺構のたろう観光ホテルでは防潮堤を乗り越え建物に迫ってくる津波の映像を見た参加者は自然の脅威におののき津波の怖さを実感しました。また、災害資料伝承館では、被災した道路看板が津波の威力を物語っており、自然災害の恐ろしさを改めて知る機会となりました。



第3回「陶芸教室」～自分のオリジナル作品を作ろう～

8月26日(水)12人が参加し、講師の長塚哲さんご指導の下、信楽焼の粘土を使い、鉛筆より少し太めの紐を積み重ねて行く「手びねり」という技法でオリジナル作品を作りました。参加者は、集中して制作に取り組み、出来上がると「初めて陶芸をしました。楽しかったです。」「大変満足で終わることができて、良かったです。」との声があり、焼き上がりを楽しみにしていました。作品は10月24・25日に開催される玄翁館まつりで展示します。



「羊毛フェルト体験講座」 ～もっふもふの可愛いひつじが大集合！～

8月23日(日)12人が参加し、講師の佐々木智子さんご指導の下、来年の干支「ひつじ」の置物を制作しました。羊毛の性質や針の安全な使い方について講師より説明を受け、参加者は自分好みの作品になるよう集中して制作に取り組んでいました。参加者からは「とても楽しくリフレッシュできました。」「可愛い作品ができて満足です。」との声があり、完成した作品を鑑賞しながら、もっふもふの可愛い「ひつじ」に癒される講座となりました。

